



「かわさきそだち」の

健康給食  
×  
SDGsなしゼリーで  
100周年をお祝いしました！市制100周年お祝い献立  
「かわさきそだち」のなしゼリーとは？

【ゼリーを食べた宿河原小学校の子どもたち】

令和6(2024)年6月26～28日、市立小・中・特別支援学校の児童生徒が地域の農作物やその歴史について考えるきっかけとするため、市内産の多摩川梨を皮ごとピューレにした「多摩川梨ピューレ」を使った“「かわさきそだち」のなしゼリー”を市制100周年お祝い献立として提供しました。

※「多摩川梨ピューレ」はJA全農かながわのSDGsの取組の一環として、食べても問題ないものの、キズや傷みがあり、一般販売に適さない市内産の多摩川梨を有効活用するため、商品化されたものです。



梨を感じられて、甘くて冷たくて、  
美味しかった！

捨てられてしまう梨を使ってゼリーを  
作っていると聞いて、びっくりした！



多摩川梨を使ったゼリーを  
給食でまた食べたい！



## 学びにも活用しました！



食に関する指導やSDGsにつながる学びを推進するため、JAセレサ川崎、JA全農かながわの協力のもと、多摩川梨の歴史や栽培の様子、SDGsに関する取組などを紹介したスライドを作成し、学習用資料として、学校の給食時間等で活用されました！



## さらに！

## 「緑化かわさきフェア」をイメージした 焼きのりパッケージも作りました！

市制100周年記念事業として開催している「全国都市緑化かわさきフェア」を児童生徒に知らせるため、市立中野島中学校の生徒が考案したデザインが袋に印刷された焼きのりを、市立小・中・特別支援学校を対象に令和6(2024)年10月の献立で提供しました。



選ばれたのは／

## 中野島中学校 2年 塵濱里帆さんのデザイン

中心に「緑」の意味を表す「Green」の文字を入れて、動物、植物など自然にかかわるものを周りに描きました。また、**人間同士が助け合って緑をつくる優しい世界になってほしい**という思いから、手をつないでいるところやハートマークを描きました。



お問合せは ▶▶▶ | 教育委員会事務局 健康給食推進室 | TEL:044-200-2158



気になるイベントが盛りだくさん！

市制100周年

## イベント掲示板

#公園 #歴史 #体験

100周年記念 橘樹官衙遺跡群  
史跡めぐり

～橘樹歴史公園と復元倉庫・影向寺見学～

令和7(2025)年

2/22<sup>±</sup> 13:30～16:00 (予定)

〈場所〉橘樹歴史公園 〈対象〉どなたでも

全国で初めて復元された飛鳥時代の倉庫の内部や、市内で古い歴史をもつ影向寺を学芸員の案内で見ることができます。申し込み方法・期間は後日HP等で案内します。

〈お問合せ先〉  
教育委員会事務局文化財課  
TEL044-200-3306



#謎解き #仕事 #体験

## メタバース謎解きツアー

令和6(2024)年

開催中(12/31<sup>※</sup>まで)

〈場所〉メタバース

〈対象〉どなたでも

今すぐ参加▶



川崎市の7区にまつわる謎解きツアー。メタバース(仮想空間)上で展開されるなぞなぞに答え、ゴールを目指そう！

こんなイベントも！

## 第18回子どもがつくる町ミニたまゆり

田園調布学園大学が主催する、こどもがさまざまな仕事を体験し、まちづくりを行うイベント。令和6(2024)年11/16・17開催。要事前WEB申込。



〈お問合せ先〉  
市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア  
実行委員会事務局(総務企画局シティブロモーション推進室内)  
TEL044-200-1451

#全国都市緑化かわさきフェア  
#バイオームアプリ #カワスイアプリで生き物探し！  
特別クエスト inかわさき

【写真投稿期間】

令和6年 開催中(11/30<sup>±</sup>まで)令和7年 3/1<sup>±</sup> - 4/30<sup>※</sup>

〈場所〉川崎市内 〈対象〉どなたでも

バイオームアプリで生き物の写真を投稿するイベント。さらに、全国都市緑化かわさきフェア会場内で投稿するとカワスイ入館料が30%OFFに！全国都市緑化かわさきフェアについて、くわしくは3ページへ！

〈お問合せ先〉  
環境局総務部企画課  
TEL044-200-3720



#SDGs #学び #遊び

100周年記念 拡大版  
「優しい木と緑のひろば」

令和6(2024)年

11/16<sup>±</sup>・17<sup>日</sup> 10:00～16:00

〈場所〉ラゾーナ川崎プラザ 〈対象〉どなたでも

日本の森の現状や、木を切り使うことが森にとって必要であることを、五感を通して遊びながら学べるイベントです。

〈お問合せ先〉  
まちづくり局企画課  
TEL044-200-2703

